



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年2月10日

上場会社名 川田テクノロジー株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3443 URL https://www.kawada.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川田 忠裕
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 渡邊 敏 TEL 03-3915-7722
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	85,880	△6.5	347	△88.9	2,350	△46.9	2,169	△38.4
2020年3月期第3四半期	91,805	6.6	3,122	△7.1	4,427	△11.8	3,520	△14.5

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 1,807百万円 (△49.8%) 2020年3月期第3四半期 3,599百万円 (△15.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	368.69	368.41
2020年3月期第3四半期	599.88	598.01

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	146,349	62,002	41.8
2020年3月期	139,093	60,630	43.0

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 61,208百万円 2020年3月期 59,856百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	—	—	80.00	80.00
2021年3月期	—	—	—		
2021年3月期（予想）				80.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	115,000	△9.5	4,000	△40.8	6,000	△29.8	4,500	△30.2	764.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	5,914,870株	2020年3月期	5,914,870株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	25,037株	2020年3月期	38,040株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	5,884,403株	2020年3月期3Q	5,868,332株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8
3. 補足情報	10
受注、販売及び繰越高の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループの当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高85,880百万円（前年同四半期比6.5%減）、営業利益347百万円（同88.9%減）、経常利益2,350百万円（同46.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,169百万円（同38.4%減）となりました。受注高につきましては79,092百万円（同14.5%増）となりました。

なお、セグメントの業績は、次のとおりであります。（セグメントの業績については、セグメント間の内部売上高等を含めて記載しています。）

（鉄構セグメント）

当セグメントの中の鋼製橋梁事業につきましては、受注は当第2四半期連結会計期間における大型特定更新工事に加え、当第3四半期連結会計期間において高速道路会社発注の大型工事や国土交通省発注の工事を積み上げることができたことで、前年同四半期を上回ることができました。売上高は、北陸新幹線関連の大型工事が概ね順調に進捗したことで前年同四半期を上回ることができました。損益面は高速道路会社発注の一部工事において設計変更を計上することができましたが、工期や進捗状況等の関係で当第4四半期以降に設計変更協議を行う工事が多くあることから、結果として当第3四半期連結会計期間では依然原価が先行する形となっております。

鉄骨事業につきましては、受注は首都圏及び関西地区において大型再開発工事の発注が見込まれているものの、発注時期が当第4四半期以降になったことで、前年同四半期を下回りました。売上高並びに損益につきましては、首都圏を中心とした大型工事が順調に進捗しておりますが、前連結会計年度において大型工事の設計変更獲得があった反動で、前年同期に対し減少する結果となりました。

セグメント全体では売上高45,246百万円（前年同四半期比0.0%減）、営業損失551百万円（前年同四半期は営業利益2,648百万円）となりました。また、受注高は40,556百万円（前年同四半期比45.7%増）となりました。

当セグメントにおいては、当第3四半期連結会計期間において設計変更契約が未了による影響が相当額ありますが、これらにつきましては今後、協議が整い次第、順次計上していく予定であります。

（土木セグメント）

土木セグメントにおきましては、売上高は、P C橋梁の新設事業及び高速道路の床版取替を中心とした更新事業を中心に工事が順調に進捗したことで27,238百万円（前年同四半期比6.9%増）となりました。

損益面は、新設事業、更新事業とも設計変更が獲得できたことや原価低減が図れたことにより営業利益2,209百万円（同84.0%増）となり、大幅に改善させることができました。

受注高は、当第3四半期連結会計期間に都道府県発注工事を中心に受注を積み重ねることができたものの、22,303百万円（同4.7%減）と前年同四半期を下回りましたが、次期繰越高は高い水準を維持しております。

（建築セグメント）

建築セグメントにおきましては、前期からの繰越工事高の減少に加え、新型コロナウイルス感染症の影響で、当第3四半期連結会計期間の期初に受注を予定していた案件が計画の見直しや先送りとなったことで受注が伸び悩み、売上高は7,757百万円（前年同四半期比47.6%減）となりました。

損益面は、システム建築とS造建築の採算性が改善したものの売上ボリューム減少による減益を補うまでに至らず、営業利益529百万円（同41.5%減）となりました。

受注高につきましては、当第3四半期連結会計期間にシステム建築を中心に受注を積み重ねることができたことで、6,989百万円（同18.1%減）になりました。当第4四半期におきましてもシステム建築をはじめとした大型案件の受注を見込んでおり、受注の回復に努めてまいります。

（その他）

その他におきましては、航空機使用事業を中心に新型コロナウイルス感染症の影響を受け、売上高は8,040百万円（前年同四半期比9.1%減）、営業損失50百万円（前年同四半期は営業利益278百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債、純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における「資産の部」は146,349百万円となり、前連結会計年度末に比べ7,256百万円(+5.2%)増加しました。これは主に、関係会社株式が2,338百万円増加、受取手形・完成工事未収入金等が1,596百万円増加及び現金預金が1,141百万円増加したことによるものであります。

また、「負債の部」は84,346百万円となり、前連結会計年度末に比べ5,883百万円(+7.5%)増加しました。これは主に、短期借入金が12,660百万円増加及び支払手形・工事未払金等が7,125百万円減少したことによるものであります。

一方、「純資産の部」は62,002百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,372百万円(+2.3%)増加しました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が1,699百万円増加したことによるものであります。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の43.0%から41.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期連結業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間における実績及び最近の業績動向を踏まえ、前回発表(2020年5月22日)の通期連結業績予想を上回る見込みであります。詳細につきましては、本日公表の「営業外収益の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照願います。

なお、日本を含め世界経済に大きな影響を及ぼしている新型コロナウイルス感染症の当社業績に対する影響やリスクにつきましては当該通期連結業績予想に織り込んでおりますが、今後業績予想の修正を必要とするような事象が発生した場合には、速やかに開示いたします。

また、新型コロナウイルス感染症の影響は長引くことが見込まれる中、当社においては特に民間事業分野を中心に影響が続くことが想定されますので、2020年6月10日に公表しております「第2次中期経営計画」につきましては、その初年度であります当2021年3月期が終わりました時点で、その影響結果を検証するとともに次年度以降への影響を検討の上、修正が必要と判断した場合は公表させていただきます。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	9,361	10,502
受取手形・完成工事未収入金等	55,898	57,495
未成工事支出金	3,337	2,456
その他のたな卸資産	1,150	1,142
その他	4,916	7,339
貸倒引当金	△4	△5
流動資産合計	74,658	78,931
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物（純額）	5,849	5,723
機械、運搬具及び工具器具備品（純額）	3,055	3,210
航空機（純額）	989	861
土地	14,821	14,927
リース資産（純額）	1,617	1,440
建設仮勘定	423	674
有形固定資産合計	26,757	26,838
無形固定資産	863	926
投資その他の資産		
投資有価証券	2,090	2,594
関係会社株式	31,571	33,909
繰延税金資産	2,323	2,393
その他	1,355	802
貸倒引当金	△527	△45
投資その他の資産合計	36,812	39,654
固定資産合計	64,434	67,418
資産合計	139,093	146,349

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	33,147	26,021
短期借入金	11,440	24,100
1年内返済予定の長期借入金	4,652	4,664
1年内償還予定の社債	5	150
リース債務	805	673
未払法人税等	872	144
未成工事受入金	4,105	5,355
賞与引当金	2,189	1,082
完成工事補償引当金	249	53
工事損失引当金	1,946	1,630
その他	3,773	4,064
流動負債合計	63,187	67,939
固定負債		
社債	100	625
長期借入金	8,530	9,193
リース債務	916	871
繰延税金負債	55	70
再評価に係る繰延税金負債	1,475	1,475
役員退職慰労引当金	482	536
退職給付に係る負債	3,242	3,312
資産除去債務	288	138
負ののれん	131	117
その他	54	66
固定負債合計	15,276	16,407
負債合計	78,463	84,346
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,283	5,283
資本剰余金	10,762	10,748
利益剰余金	40,883	42,582
自己株式	△107	△36
株主資本合計	56,822	58,577
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,444	1,239
土地再評価差額金	979	979
為替換算調整勘定	594	413
退職給付に係る調整累計額	16	△1
その他の包括利益累計額合計	3,034	2,630
新株予約権	2	2
非支配株主持分	771	792
純資産合計	60,630	62,002
負債純資産合計	139,093	146,349

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	91,805	85,880
売上原価	81,223	78,283
売上総利益	10,582	7,596
販売費及び一般管理費	7,460	7,249
営業利益	3,122	347
営業外収益		
受取利息及び配当金	57	201
受取賃貸料	110	113
負ののれん償却額	15	15
持分法による投資利益	1,613	1,962
補助金収入	58	272
その他	157	170
営業外収益合計	2,013	2,736
営業外費用		
支払利息	230	280
賃貸費用	349	362
その他	128	90
営業外費用合計	707	733
経常利益	4,427	2,350
特別利益		
補助金収入	1,401	6
特別利益合計	1,401	6
特別損失		
減損損失	-	4
固定資産圧縮損	1,401	4
特別損失合計	1,401	9
税金等調整前四半期純利益	4,427	2,347
法人税、住民税及び事業税	456	299
法人税等調整額	392	△155
法人税等合計	848	144
四半期純利益	3,579	2,203
非支配株主に帰属する四半期純利益	58	33
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,520	2,169

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	3,579	2,203
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	70	245
退職給付に係る調整額	△108	△26
持分法適用会社に対する持分相当額	58	△614
その他の包括利益合計	20	△395
四半期包括利益	3,599	1,807
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,537	1,765
非支配株主に係る四半期包括利益	62	41

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	鉄構	土木	建築	計		
売上高						
外部顧客への売上高	44,530	24,212	14,620	83,364	8,441	91,805
セグメント間の内部売上高 又は振替高	736	1,270	182	2,190	403	2,593
計	45,267	25,483	14,803	85,554	8,844	94,399
セグメント利益	2,648	1,200	905	4,755	278	5,033

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ソフトウェアの開発・販売、航空、その他機械の販売、不動産売買・賃貸に関する事業等を含んでいます。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	4,755
「その他」の区分の利益	278
セグメント間取引消去	170
全社費用(注)	△2,030
その他の調整額	△51
四半期連結損益計算書の営業利益	3,122

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
重要性が乏しいため、記載を省略しています。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	鉄構	土木	建築	計		
売上高						
外部顧客への売上高	44,627	26,449	7,308	78,385	7,494	85,880
セグメント間の内部売上高 又は振替高	619	789	448	1,857	546	2,403
計	45,246	27,238	7,757	80,242	8,040	88,283
セグメント利益又は損失(△)	△551	2,209	529	2,186	△50	2,136

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ソフトウェアの開発・販売、航空、その他機械の販売、不動産売買・賃貸に関する事業等を含んでいます。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,186
「その他」の区分の損失(△)	△50
セグメント間取引消去	△585
全社費用(注)	△1,882
その他の調整額	678
四半期連結損益計算書の営業利益	347

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
重要性が乏しいため、記載を省略しています。

3. 補足情報

受注、販売及び繰越高の状況

(1) 受注高

(単位：百万円、%)

セグメントの名称	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)		増 減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
鉄構	27,834	40.3	40,556	51.3	12,721	45.7
土木	23,398	33.9	22,303	28.2	△1,095	△4.7
建築	8,531	12.3	6,989	8.8	△1,542	△18.1
その他	9,323	13.5	9,244	11.7	△79	△0.9
合計	69,088	100.0	79,092	100.0	10,004	14.5

(2) 販売高

(単位：百万円、%)

セグメントの名称	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)		増 減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
鉄構	45,267	47.9	45,246	51.2	△21	△0.0
土木	25,483	27.0	27,238	30.9	1,755	6.9
建築	14,803	15.7	7,757	8.8	△7,045	△47.6
その他	8,844	9.4	8,040	9.1	△803	△9.1
合計	94,399	100.0	88,283	100.0	△6,115	△6.5

(3) 次期繰越高

(単位：百万円、%)

セグメントの名称	前第3四半期 連結会計期間末 (2019年12月31日)		当第3四半期 連結会計期間末 (2020年12月31日)		増 減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
鉄構	70,711	53.1	63,819	51.1	△6,891	△9.7
土木	48,245	36.2	47,230	37.9	△1,014	△2.1
建築	12,315	9.2	11,345	9.1	△969	△7.9
その他	1,989	1.5	2,421	1.9	432	21.7
合計	133,262	100.0	124,818	100.0	△8,443	△6.3

(注) セグメント間の取引については、相殺消去していません。